

**新たなまちのシンボル！**  
～人と環境にやさしい杜市を目指して～

行程表

各地

11：00～12：00

のれんアートのまち勝山  
（勝山旅先案内人とともに町を散策）

12：20～13：20

真庭あぐりガーデン

13：20～14：30

バイオマスタウン真庭  
（視察70分）

（バス車内にて、バイオマスの取組みを説明／約20分）

各地

**のれんアートのまち勝山**

2009年度都市景観大賞『美しいまちなみ大賞』  
国土交通大臣賞受賞

行ってみたい 歩いてみたい  
日本の百か所「遊歩百選の町」

二百数十年の歴史がある城下町 勝山は、かつて出雲街道の宿場町として栄えた町で、土蔵や白壁、格子窓の古い町並みが残ることから、昭和60年に岡山県初の「町並み保存地区」に指定されました。最近では、平成7年に映画人気シリーズのロケ現場や、『美しいまちなみ大賞』『遊歩百選の町』に選ばれています。その昔の面影をとどめようと、新たな勝山のシンボルとなっている「のれん」。自転車屋さんや資料館、和紙のお店など、家々の軒先にはお店に合った色鮮やかな草木染めののれんがかかっており、町に統一感が出ています。古きよき伝統を残しながらも、新しいセンスを取り入れる地域作りは全国でもモデルケースとして注目を集めています。

**勝山旅先案内人とともに町を散策**

街並みを散策しながら、「のれんアート」、「まちおこし」の取り組み秘話を聞くことができます。



加納容子さん



のれんアート（一例）



勝山町並み保存地区

**バイオマスエネルギーのまち真庭**

2009年度第14回新エネ大賞バイオマスツアー真庭  
「経済産業大臣賞」受賞

バイオマス産業  
とし  
社市真庭視察  
日本でも有数のバイオマスの取り組みを専属ガイドよりご説明します。  
（単独見学可、所要時間：約70分）

1997年12月、先進国から排出される温室効果ガスの削減に関する「京都議定書」が合意され、日本は2008年から4年間に二酸化炭素の温室効果ガスを1990年排出量の6%削減という目標を掲げ、国を挙げてバイオマス利用を推進しています。バイオマスには様々な種類、用途がありますが、真庭市では木質系、家畜系、食品系の3系統のバイオマス利活用を推進しています。真庭市のバイオマスの取り組みは、全国的にみても先進的で、民間企業、市民、行政などが連携して、さまざまな事業が展開されています。  
※バイオマス…再生可能な生物由来の有機物資源（化石燃料を除いたもの）。例えば木屑・紙くず・生ゴミ・家畜の糞尿・下水の汚泥などを指します。

**真庭バイオマス発電所**

真庭バイオマス発電所（2015年4月完成）は、真庭地域の間伐材をはじめとする未利用材や製材所で発生する木くずなどにより、バイオマス発電の燃料を収集し発電をしています。発電した電力は、電力会社へ販売されるほか、地域内への電力供給の仕組みづくりも目指しています。地域資源を利用した木質バイオマス発電施設の仕組みをご覧ください。



真庭バイオマス発電所



バイオマス発電燃料

**真庭市役所本庁舎**

真庭市役所本庁舎（2011年4月完成）は、地元ヒノキをカウンター、柱などふんだんに使用し、冷暖房には木質バイオマスボイラを導入しています。太陽光発電パネルも導入し環境に配慮した庁舎です。100%自然再生可能エネルギーで動く公共施設をご覧ください。



真庭市役所



真庭市本庁舎見学の様子



真庭バイオマス発電所